

江戸時代の石塔建立

[期間 平成21年8月25日～10月13日]

はじめに

江戸時代の石塔は、墓石をはじめ、民間信仰に係わる庚申塔(こうしんとう)・月待塔(つきまちとう)、宗教行事に関する經典供養塔(きょうてんくようとう)や念仏(ねんぶつ)供養塔など、その種類や形態、目的は実に様々です。しかし、これらの石塔建立の根底にあるのは、当時の人々が地域の安穩や自己の無病息災(むびようそくさい)を願って造られたものがほとんどです。

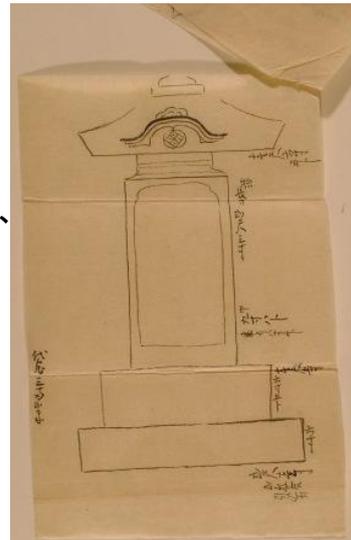
今回の展示では、こうした石塔や信仰に関わる様々な文書を通じて、江戸時代の庶民の暮らしの一端を紹介します。

平成21年8月 埼玉県立文書館

1 絵図面にみる石塔

江戸時代の人々にとって石塔を建立することは、経済的な負担を伴う一大事業でした。しかし「造塔功德(ぞうとうくどく)」とあるように、造塔により多くの功德が得られるとともに、永続的な信仰の証(あかし)を石に刻むことができる絶好の機会でもありました。

これらの絵図面は、石塔建立の過程で発注者と石工の間でやりとりされたものです。大きさや仕様、納入時期、建立場所などが図面や書類のなかに細かく記入され、「石塔1本」の完成までに綿密に打ち合わせを重ねたことがわかります。



展示資料

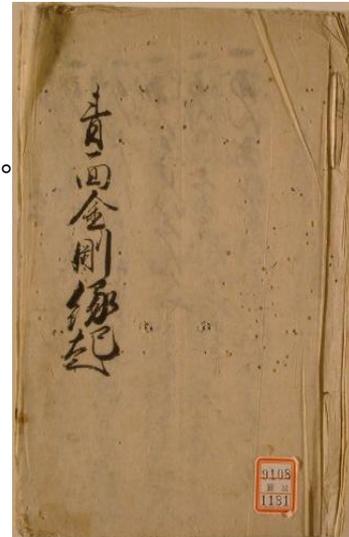
- 宝篋印塔指図 慶応元年カ 大熊(正)家 6589
- 宝篋印塔指図 土生津家 4879
- 仕様帳(九輪・笠石・火袋ほか) 安政2年(1855) 大熊(正)家 2743
- 宝篋印塔寸法並内金請取 大熊(正)家 4688
- 石塔建立入用帳 慶応元年 大熊(正)4737
- 五輪石塔及笠付石塔絵図面綴 慶応元年(1865) 大熊(正)家 4749

- 覚[石塔代金] 大熊(正)家 4726

2 民間信仰と石塔

民間信仰(みんかんしんこう)というのは、民衆のあいだで日常的な生活と結びついて展開する信仰をさしています。主なところでは、二十三夜など特定の晩に信者が集まり月の出を待って念仏を唱える月待供養、干支(えと)の組み合わせで六十日ごとに巡ってくる庚申の晩に身を潔めて徹夜で過ごす庚申待供養などが盛んに行われました。また宗教行事としては、念仏(南無阿弥陀仏)を唱える念仏供養や一切の罪障(ざいしょう)から免れると説く光明真言(こうみょうしんごん)供養など、寺を中心に定期的に開かれました。

人々の間では、こうした由来や功德を説くための縁起が広く流布し、ある目的が達成されると講仲間により石塔が建立されました。



展示資料

- 百万遍念仏縁記 小林(茂)家 4767
- 秘密光明真言焼上文 文化7年(1810) 藤城家 1183
- 青面金剛縁起 [庚申之縁起(寛政10年(1798)写)] 藤城家 1181
- 一札之事(馬頭観世音建立二付) 野中家 4645
- 馬頭観世音建立帳 文政3年(1820) 野中家 1962
- 百庚申札打道筋附 嘉永4年(1851) 藤城家 338

3 石塔建立と関係文書

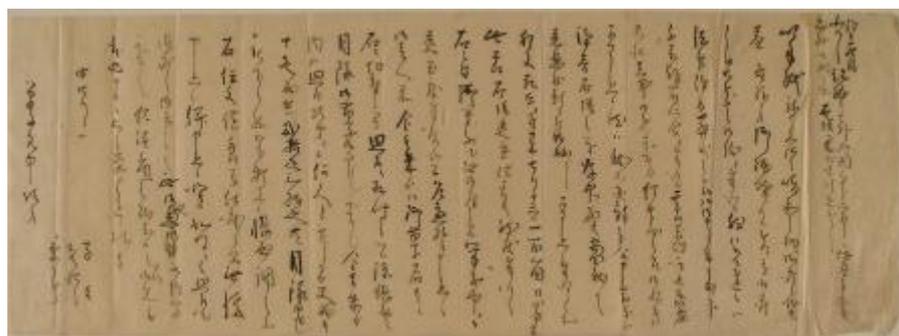
石塔の建立にあたっては、計画的な準備が必要でした。まず資金については、個人で工面する場合がありますが、大型の宝篋印塔や庚申塔などは、寺や檀家総代、講中が中心となって寄付を募りました。



ここでは、建立に関わる文書が残る平山家(毛呂山町)と加藤家(伊奈町)の文書から2基の石塔を紹介します。

展示資料

- 宝篋印塔造立入用覚帳 天明3(1783) 平山家 1078
- 宝篋印塔建立供養記録 寛政2(1790) 平山家 1354
- 宝篋印塔功作金一札 寛政3(1791) 平山家 1280
- 契約申合証文之事(石塔建立二付) 天明4年(1784) 平山家 3780
- 一札之事(石塔建立寄付金受取) 安永4年(1775) 平山家 3797
- 書状[法印浄音石塔建立二付口上] 文政7年(1824) 加藤家 1660
- 浄音石塔建立寄付者控 文政8年(1825) 加藤家 1708



4 護符

神仏の名や姿・文字などを記した紙や板を、護符(ごふ)あるいは守り札と呼びます。これらは神仏の加護(かご)により、種々の厄難(やくなん)から人々を守ってくれるので、護符を壁に貼りつけたり、持ち物に入れたりしました。なかには、薬のかわりに飲み下すために小片になっているものもあります。江戸時代は医療が不十分で薬も高価であったので、人々は病気に罹(かか)ることをもっとも恐れしました。護符は、「まじない」に過ぎなくても無病息災を信じて広く買い求められました。

展示した資料は、修験寺院(しゅげんじいん)であった八塩家(林蔵院)に伝わったものです。近郊の各寺院をはじめ熊野や西国札所・粉河寺(こかわでら)(和歌山県)の護符もみられます。



展示資料

- [藥師如来立像]冷水山 八塩家 1588
- [地藏菩薩立像]靈雲寺 八塩家 1587
- [千手觀音坐像] 八塩家 1586
- [千手觀音立像] 坂東九番 慈光寺 八塩家 1584
- [弁財天坐像] 八塩家 1582
- [千手觀音立像] 武州入間郡山口吾庵山金乘院 八塩家 1581
- [千手觀音立像] 粉河寺 八塩家 1580
- [奉転読大般若經宝簡] 八口山林蔵院 八塩家 1591
- [金剛力士像] 法華寺 八塩家 1585
- [南無阿弥陀仏] 八塩家 1592
- [不動明王坐像] 八塩家 1593
- 疱瘡神 越生山本坊 八塩家 1598